

第6期

運用報告書(全体版)

米国好配当リバランスオープン (年2回決算型)(為替ヘッジあり)

【2020年5月21日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
皆様の「米国好配当リバランスオープン(年2回決算型)(為替ヘッジあり)」は、2020年5月21日に第6期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	2017年6月28日から2027年5月21日までです。	
運用方針	米国好配当リバランスマザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。)を通じて、主として米国の取引所に上場している株式に投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	米国好配当リバランスマザーファンド	米国の取引所上場株式(これに準ずるものを含みます。)を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。
	米国好配当リバランスマザーファンド	株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年5月21日および11月21日(それぞれ休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配対象収益の中から主として配当等収益を勘案して決定します。また、基準価額が当初元本を上回っている場合は、配当等収益または元本超過分の概ね、いずれか多い額を分配金額とします。ただし、市場環境や資金動向等によっては、分配金額が元本超過分とならない場合があります。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI USA指数 (米ドル建て)		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期騰落率	(参考指数)	期騰落率			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
2期(2018年5月21日)	10,008	80	0.8	2,586.59	5.1	89.5	—	64
3期(2018年11月21日)	9,724	130	△1.5	2,510.50	△2.9	90.5	—	52
4期(2019年5月21日)	9,868	150	3.0	2,706.41	7.8	93.1	—	44
5期(2019年11月21日)	10,005	170	3.1	2,962.40	9.5	87.1	—	35
6期(2020年5月21日)	7,878	130	△20.0	2,846.24	△3.9	92.6	—	18

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) MSCI USA指数(米ドル建て)は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

MSCI USA指数(米ドル建て)は当該日前営業日の現地終値です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、株式組入比率および株式先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率=買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		MSCI USA指数 (米ドル建て)		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2019年11月21日	円	%	ポイント	%	%	%
	10,005	—	2,962.40	—	87.1	—
11月末	10,161	1.6	3,006.21	1.5	90.4	—
12月末	10,413	4.1	3,085.41	4.2	92.4	—
2020年1月末	10,149	1.4	3,133.69	5.8	92.9	—
2月末	9,050	△9.5	2,846.07	△3.9	90.1	—
3月末	7,271	△27.3	2,500.02	△15.6	88.9	—
4月末	8,570	△14.3	2,807.50	△5.2	91.1	—
(期末) 2020年5月21日	8,008	△20.0	2,846.24	△3.9	92.6	—

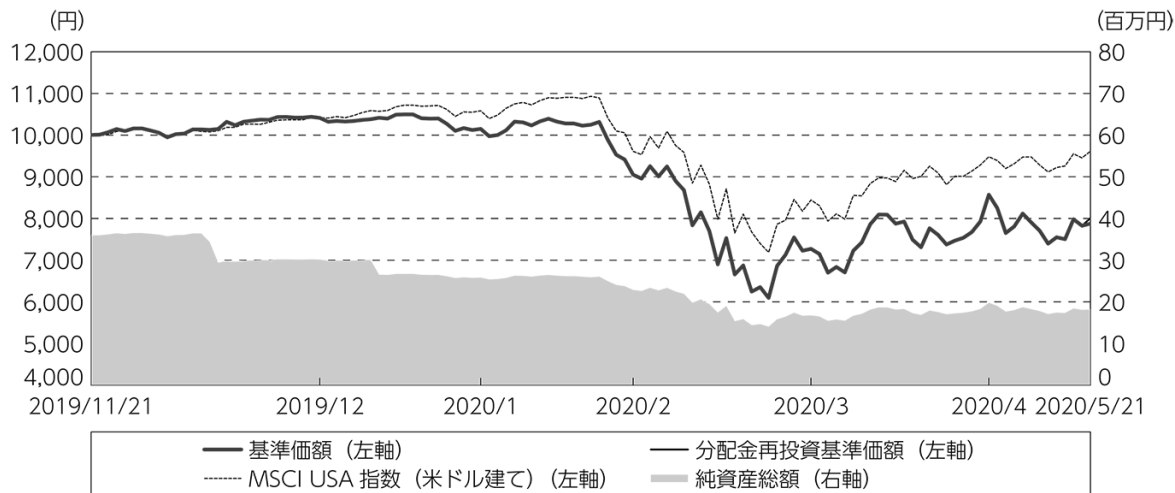
(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

MSCI USA指数はMSCI Inc. が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2019年11月22日～2020年5月21日）



期首：10,005円

期末：7,878円（既払分配金（税引前）：130円）

騰落率：△ 20.0%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）参考指数は、MSCI USA指数（米ドル建て）です。

（注）分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2019年11月21日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「米国好配当リバランスマザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- ・個別銘柄では、DXCテクノロジーやハリバートン、ウィン・リゾーツなどがプラスに寄与しました。

（主なマイナス要因）

- ・個別銘柄では、カーニバルやマラソン・ペトロリアム、コールズなどがマイナスに影響しました。
- ・為替市場で米ドルが円に対して下落したこと（円高）がマイナス要因となりました。
- ・資金変動への対応や銘柄入替えの際の売買にかかる手数料がマイナス要因となりました。

また、当ファンドにおいては、信託報酬や為替のヘッジコストが主なマイナス要因となりました。なお、為替ヘッジを行っているため、マザーファンドでの米ドルが円に対して下落したこと（円高）によるマイナスの影響は限定的なものとなりました。

投資環境

（2019年11月22日～2020年5月21日）

米国株式市場は、米中通商協議が「第一段階」の合意に達したことから、景気の先行き期待の高まりとともに、2020年2月にかけて上昇しました。しかし、新型コロナウイルスの新規感染者が中国本土以外でも急増し、世界的な大流行（パンデミック）へ発展したことを受けて、3月にかけて急落する展開となりました。4月以降は、大規模な経済対策や米連邦準備制度理事会（FRB）による更なる金融支援が打ち出される中、新型コロナウイルスの感染拡大がピークを打ったとの見方や、治療薬への期待が高まり、急速に戻りを試す動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2019年11月22日～2020年5月21日）

<米国好配当リバランスオープン（年2回決算型）（為替ヘッジあり）>

「米国好配当リバランスマザーファンド」を通じて、米国の取引所に上場している株式を組み入れ、実質株式組入比率は、資金流出や決算対応で一時的に低下した時期を除き、概ね90%台で推移させました。また、実質組入外貨建資産については、運用の基本方針に則り為替ヘッジを行い、高位のヘッジ比率を維持しました。

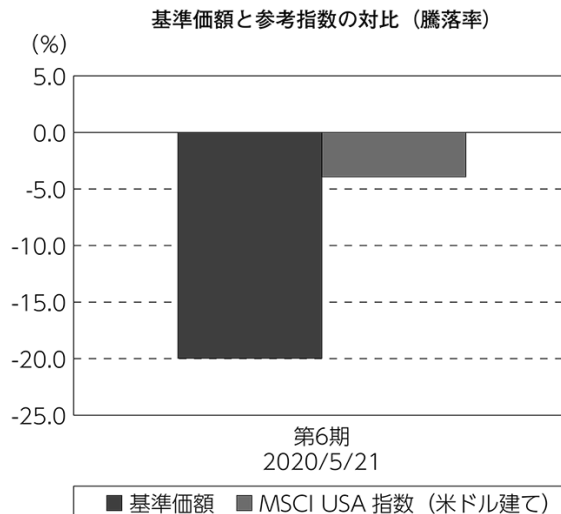
○米国好配当リバランスマザーファンド

米国の取引所に上場している株式の組入比率を概ね高位に維持しました。運用の基本方針に則り、MSCI USA指数採用銘柄（REITを除く）の中から原則として予想配当利回りの高い上位70銘柄を選定し、各銘柄への資産配分が概ね等金額になるよう組入銘柄の入替えと組入比率の調整（リバランス）を行いました。リバランスについては、毎月1回の頻度で行いました。また、2020年3月以降は、新型コロナウイルスの影響拡大に伴い、配当予想や業績見通しが大きく引き下げられる銘柄が発生したため、臨時的銘柄入替えも行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2019年11月22日～2020年5月21日）

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているMSCI USA指数（米ドル建て）の騰落率を16.1%下回りました。詳細につきましては前掲の「基準価額の主な変動要因」をご参照ください。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

（注）参考指数は、MSCI USA指数（米ドル建て）です。

分配金

（2019年11月22日～2020年5月21日）

当ファンドは、毎年5月21日および11月21日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、委託会社が分配対象収益の中から主として配当等収益を勘案して決定します。また、基準価額が当初元本を上回っている場合は、配当等収益または元本超過分の概ね、いずれか多い額を分配金額とします。ただし、市場環境や資金動向等によっては、分配金額が元本超過分とならない場合があります。当期につきましては、概ね配当等収益に相当する1万口当たり130円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第6期
	2019年11月22日～ 2020年5月21日
当期分配金	130
（対基準価額比率）	1.623%
当期の収益	130
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てて算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<米国好配当リバランスオープン（年2回決算型）（為替ヘッジあり）>

当ファンドの主要な投資対象である「米国好配当リバランスマザーファンド」を通じて、主として米国の取引所に上場している株式に投資し、株式の実質組入比率を高位に保ちます。また、実質組入外貨建資産については、運用の基本方針に則り為替ヘッジを行い、高位のヘッジ比率を維持する方針です。

○米国好配当リバランスマザーファンド

運用の基本方針に則り、MSCI USA指数採用銘柄（REITを除く）の中から予想配当利回りの高い上位70銘柄を選定し、各銘柄への資産配分が概ね等金額になるよう組入銘柄の入替えと組入比率の調整（リバランス）を行います。リバランスの頻度については、原則として毎月1回行う方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

（2019年11月22日～2020年5月21日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 48	% 0.520	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(25)	(0.274)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(20)	(0.219)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	26	0.284	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(26)	(0.284)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(0)	(0.002)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	12	0.135	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(12)	(0.128)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料
合 計	86	0.941	
期中の平均基準価額は、9,269円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

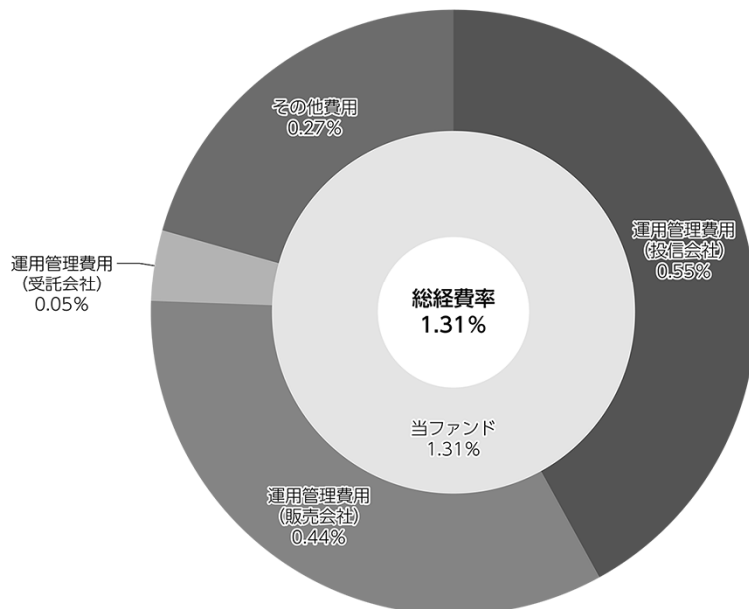
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.31%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2019年11月22日～2020年5月21日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
米国好配当リバランスマザーファンド	千口 4,380	千円 4,490	千口 13,109	千円 14,300

（注）単位未満は切捨て。

○株式売買比率

（2019年11月22日～2020年5月21日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	米国好配当リバランスマザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	473,948千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	265,406千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.78

（注）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

（2019年11月22日～2020年5月21日）

利害関係人との取引状況

<米国好配当リバランスオープン（年2回決算型）（為替ヘッジあり）>
該当事項はございません。

<米国好配当リバランスマザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
株式	百万円 218	百万円 56	25.7	百万円 255	百万円 82	32.2

平均保有割合 8.6%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

米国好配当リバランスオープン（年2回決算型）（為替ヘッジあり）

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	70千円
うち利害関係人への支払額 (B)	19千円
(B) / (A)	28.1%

(注) 売買委託手数料総額は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはOKASAN SECURITIES TOKYO/JAPANです。

○組入資産の明細

(2020年5月21日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
米国好配当リバランスマザーファンド	千口 28,232	千口 19,502	千円 17,673

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年5月21日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
米国好配当リバランスマザーファンド	千円 17,673	% 94.5
コール・ローン等、その他	1,022	5.5
投資信託財産総額	18,695	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 米国好配当リバランスマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（208,724千円）の投資信託財産総額（218,254千円）に対する比率は95.6%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル＝107.75円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2020年5月21日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	34,593,517
コール・ローン等	1,022,178
米国好配当リバランスマザーファンド(評価額)	17,673,608
未収入金	15,897,731
(B) 負債	16,412,027
未払金	15,984,164
未払収益分配金	300,019
未払信託報酬	126,303
未払利息	1
その他未払費用	1,540
(C) 純資産総額(A-B)	18,181,490
元本	23,078,460
次期繰越損益金	△ 4,896,970
(D) 受益権総口数	23,078,460口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,878円

- (注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は4,896,970円です。
 (注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、0.7878円です。
 (注) 当ファンドの期首元本額は35,923,068円、期中追加設定元本額は56,340円、期中一部解約元本額は12,900,948円です。

○損益の状況（2019年11月22日～2020年5月21日）

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	△ 80
受取利息	3
支払利息	△ 83
(B) 有価証券売買損益	△4,472,716
売買益	2,198,261
売買損	△6,670,977
(C) 信託報酬等	△ 127,848
(D) 当期損益金(A+B+C)	△4,600,644
(E) 前期繰越損益金	△ 4,203
(F) 追加信託差損益金	7,896
(配当等相当額)	(2,109)
(売買損益相当額)	(5,787)
(G) 計(D+E+F)	△4,596,951
(H) 収益分配金	△ 300,019
次期繰越損益金(G+H)	△4,896,970
追加信託差損益金	7,896
(配当等相当額)	(2,225)
(売買損益相当額)	(5,671)
分配準備積立金	14,716
繰越損益金	△4,919,582

- (注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) 収益分配金

決算期	第6期
(a) 配当等収益(費用控除後)	308,585円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	2,225円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	6,150円
分配対象収益(a+b+c+d)	316,960円
分配対象収益(1万口当たり)	137円
分配金額	300,019円
分配金額(1万口当たり)	130円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	130円
支払開始日	2020年5月27日(水)までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

＜お知らせ＞

該当事項はございません。

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

米国好配当リバランスマザーファンド

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じることがありますのでご了承ください。

米国好配当リバランスマザーファンド

第3期 運用状況のご報告

決算日：2020年5月21日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として米国の取引所に上場している株式に投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	米国の取引所上場株式（これに準ずるものを含みます。）を主要投資対象とします。
投資制限	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		MSCI USA 指数 (円換算後)		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	期騰落	中率	(参考指数)	期騰落			
(設定日) 2017年6月28日	円	%	ポイント		%	%	百万円
	10,000	—	258,328.71	—	—	—	724
1期(2018年5月21日)	10,645	6.5	287,344.28	11.2	96.2	—	1,106
2期(2019年5月21日)	11,112	4.4	298,165.19	3.8	97.5	—	506
3期(2020年5月21日)	9,062	△18.4	306,682.36	2.9	95.3	—	218

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。

(注) MSCI USA指数（円換算後）は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

MSCI USA指数（円換算後）は当該日前営業日の現地終値に為替レート（対顧客電信売買相場の当日（東京）の仲値）を乗じて算出しています。

(注) 株式先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		M S C I U S A 指 数 (円 換 算 後)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率	(参 考 指 数)	騰 落 率		
(期 首) 2019年 5月21日	円 11,112	% —	ポイント 298,165.19	% —	% 97.5	% —
5月末	10,591	△ 4.7	290,596.86	△ 2.5	94.5	—
6月末	10,984	△ 1.2	300,408.57	0.8	96.6	—
7月末	11,320	1.9	312,184.64	4.7	96.1	—
8月末	10,170	△ 8.5	296,591.17	△ 0.5	95.4	—
9月末	11,099	△ 0.1	304,145.54	2.0	96.1	—
10月末	11,334	2.0	315,771.60	5.9	96.8	—
11月末	11,748	5.7	329,360.37	10.5	92.3	—
12月末	12,091	8.8	338,037.52	13.4	94.8	—
2020年 1月末	11,759	5.8	341,760.23	14.6	96.0	—
2月末	10,490	△ 5.6	311,445.44	4.5	93.9	—
3月末	8,263	△25.6	272,077.18	△ 8.7	92.6	—
4月末	9,640	△13.2	300,037.53	0.6	94.6	—
(期 末) 2020年 5月21日	9,062	△18.4	306,682.36	2.9	95.3	—

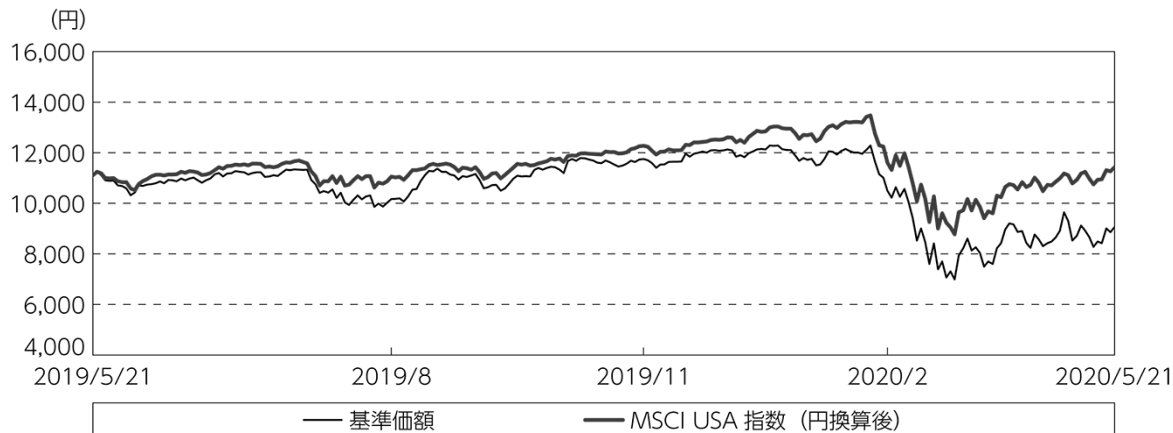
(注) 騰落率は期首比。

MSCI USA指数はMSCI Inc. が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2019年5月22日～2020年5月21日)



(注) 参考指数は、MSCI USA指数 (円換算後) です。

(注) 参考指数は、期首 (2019年5月21日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・個別銘柄では、ハリバートンやDXCテクノロジー、ウィン・リゾーツなどがプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・個別銘柄では、カーニバルやコールズ、ギャップなどがマイナスに影響しました。
- ・為替市場で米ドルが円に対して下落したこと (円高) がマイナス要因となりました。
- ・資金変動への対応や銘柄入替えの際の売買にかかる手数料がマイナス要因となりました。

投資環境

(2019年5月22日～2020年5月21日)

米国株式市場は、2019年9月にかけては米中通商協議の行方を睨みながら方向感を探る動きが続きましたが、その後は米中が「第一段階」の合意に達したことや、英国の合意なき欧州連合 (EU) 離脱が回避されたことなども支援材料となり、景気の先行き期待の高まりとともに、2020年2月にかけて上昇しました。しかし、新型コロナウイルスの新規感染者が中国本土以外でも急増し、世界的な大流行 (パンデミック) へ発展したことを受けて、3月にかけて急落する展開となりました。4月以降は、大規模な経済対策や米連邦準備制度理事会 (FRB) による更なる金融支援が打ち出される中、新型コロナウイルスの感染拡大がピークを打ったとの見方や、治療薬への期待が高まり、急速に戻りを試す動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2019年5月22日～2020年5月21日)

米国の取引所に上場している株式の組入比率を概ね高位に維持しました。運用の基本方針に則り、MSCI USA 指数採用銘柄（REITを除く）の中から原則として予想配当利回りの高い上位70銘柄を選定し、各銘柄への資産配分が概ね等金額になるよう組入銘柄の入替えと組入比率の調整（リバランス）を行いました。リバランスについては、毎月1回の頻度で行いました。また、2020年3月以降は、新型コロナウイルスの影響拡大に伴い、配当予想や業績見通しが大きく引き下げられる銘柄が発生したため、臨時的銘柄入替えも行いました。

組入外貨建資産については、運用の基本方針に則り、為替ヘッジを行いませんでした。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年5月22日～2020年5月21日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているMSCI USA指数（円換算後）の騰落率を21.3%下回りました。詳細につきましては前掲の「基準価額の主な変動要因」をご参照ください。

今後の運用方針

運用の基本方針に則り、MSCI USA 指数採用銘柄（REITを除く）の中から予想配当利回りの高い上位70銘柄を選定し、各銘柄への資産配分が概ね等金額になるよう組入銘柄の入替えと組入比率の調整（リバランス）を行います。リバランスの頻度については、原則として毎月1回行う方針です。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

○1万口当たりの費用明細

(2019年5月22日～2020年5月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 52 (52)	% 0.483 (0.483)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.004 (0.004)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	25 (24) (0)	0.229 (0.226) (0.003)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用等
合 計	77	0.716	
期中の平均基準価額は、10,790円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年5月22日～2020年5月21日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 1,277	千米ドル 3,707	百株 1,886 (-)	千米ドル 5,754 (1)

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2019年5月22日～2020年5月21日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,024,421千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	332,465千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	3.08

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

(2019年5月22日～2020年5月21日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
株式	百万円 400	百万円 56	14.0	百万円 623	百万円 117	18.8

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	1,680千円
うち利害関係人への支払額 (B)	297千円
(B) / (A)	17.7%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはOKASAN SECURITIES TOKYO/JAPANです。

○組入資産の明細

(2020年5月21日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ALTRIA GROUP INC	12	6	25	2,702	食品・飲料・タバコ
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	—	10	30	3,281	保険
AT&T INC	21	9	27	2,939	電気通信サービス
CARNIVAL CORP	11	—	—	—	消費者サービス
CITIGROUP INC	—	6	28	3,062	銀行
CORNING INC	—	12	26	2,869	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
CVS HEALTH CORP	11	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
DISCOVER FINANCIAL SERVICES	—	7	31	3,398	各種金融
EASTMAN CHEMICAL CO	—	4	27	2,995	素材
EXXON MOBIL CORP	8	—	—	—	エネルギー
FORD MOTOR CO	61	—	—	—	自動車・自動車部品
GENERAL MILLS INC	11	—	—	—	食品・飲料・タバコ
GENERAL MOTORS CO	17	—	—	—	自動車・自動車部品
PPL CORP	19	9	24	2,674	公益事業
HP INC	—	17	30	3,338	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
INTL BUSINESS MACHINES CORP	4	2	26	2,864	ソフトウェア・サービス
INTERNATIONAL PAPER CO	15	7	26	2,830	素材
INVESCO LTD	34	37	27	2,974	各種金融
KEYCORP	40	24	26	2,860	銀行
METLIFE INC	13	7	25	2,719	保険
OMNICOM GROUP	—	4	26	2,819	メディア・娯楽
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	7	3	23	2,543	食品・飲料・タバコ
PHILLIPS 66	7	3	27	3,010	エネルギー
SCHLUMBERGER LTD	15	16	29	3,231	エネルギー
PINNACLE WEST CAPITAL	—	3	25	2,744	公益事業
SOUTHERN CO/THE	11	4	25	2,782	公益事業
VERIZON COMMUNICATIONS INC	12	4	25	2,701	電気通信サービス
H&R BLOCK INC	25	—	—	—	消費者サービス
ONEOK INC	10	8	31	3,406	エネルギー
CARDINAL HEALTH INC	13	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
CENTURYLINK INC	57	28	27	2,991	電気通信サービス
COMERICA INC	8	8	28	3,041	銀行
KELLOGG CO	11	—	—	—	食品・飲料・タバコ
EATON VANCE CORP	16	—	—	—	各種金融
ENERGY CORP	6	—	—	—	公益事業
M & T BANK CORP	—	2	27	2,931	銀行
FRANKLIN RESOURCES INC	—	14	26	2,869	各種金融
GAP INC/THE	27	—	—	—	小売
GENUINE PARTS CO	—	3	27	2,987	小売
CENTERPOINT ENERGY INC	20	—	—	—	公益事業
WELLS FARGO & CO	13	11	27	2,974	銀行
WHIRLPOOL CORP	4	2	29	3,124	耐久消費財・アパレル
INTERPUBLIC GROUP OF COS INC	27	16	27	2,943	メディア・娯楽
KOHL'S CORP	10	—	—	—	小売
LINCOLN NATIONAL CORP	—	8	30	3,297	保険
DOMINION ENERGY INC	8	3	25	2,749	公益事業

米国好配当リバランスマザーファンド

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
OGE ENERGY CORP	—	7	24	2,642	公益事業
CHEVRON CORP	5	—	—	—	エネルギー
PNC FINANCIAL SERVICES GROUP	—	2	28	3,104	銀行
US BANCORP	—	7	25	2,764	銀行
HARLEY-DAVIDSON INC	17	—	—	—	自動車・自動車部品
HELMERICH & PAYNE	11	—	—	—	エネルギー
MARATHON PETROLEUM CORP	11	—	—	—	エネルギー
MOLSON COORS BEVERAGE CO - B	—	7	26	2,857	食品・飲料・タバコ
UGI CORP	—	8	27	2,967	公益事業
NORDSTROM INC	15	—	—	—	小売
OCCIDENTAL PETROLEUM CORP	11	—	—	—	エネルギー
PRUDENTIAL FINANCIAL INC	6	5	28	3,065	保険
CF INDUSTRIES HOLDINGS INC	—	10	28	3,056	素材
BUNGE LTD	11	7	25	2,761	食品・飲料・タバコ
VALERO ENERGY CORP	7	—	—	—	エネルギー
WILLIAMS COS INC	25	13	27	2,915	エネルギー
UNITED PARCEL SERVICE-CL B	6	—	—	—	運輸
MACY'S INC	27	—	—	—	小売
TAPESTRY INC	21	—	—	—	耐久消費財・アパレル
HOLLYFRONTIER CORP	—	9	29	3,157	エネルギー
REGIONS FINANCIAL CORP	45	26	26	2,886	銀行
LAS VEGAS SANDS CORP	10	—	—	—	消費者サービス
HANESBRANDS INC	38	—	—	—	耐久消費財・アパレル
WESTERN UNION CO	35	13	26	2,877	ソフトウェア・サービス
KINDER MORGAN INC	31	17	27	2,996	エネルギー
LYONDELLBASELL INDU-CL A	8	4	28	3,116	素材
ALLY FINANCIAL INC	—	17	29	3,133	各種金融
DUKE ENERGY CORP	7	3	25	2,782	公益事業
ABBVIE INC	8	3	28	3,065	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
L BRANDS INC	25	—	—	—	小売
COTY INC-CL A	52	—	—	—	家庭用品・パーソナル用品
PLAINS GP HOLDINGS LP-CL A	25	—	—	—	エネルギー
DOW INC	—	7	28	3,079	素材
AMCOR PLC	—	27	26	2,834	素材
TRUIST FINANCIAL CORP	—	8	27	2,918	銀行
FIDELITY NATIONAL FINANCIAL	—	10	28	3,060	保険
SYNCHRONY FINANCIAL	—	17	31	3,346	各種金融
CITIZENS FINANCIAL GROUP	19	13	28	3,063	銀行
NIelsen HOLDINGS PLC	27	—	—	—	商業・専門サービス
WESTROCK CO	18	10	26	2,877	素材
HEWLETT PACKARD ENTERPRISE	—	29	30	3,276	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
CHEMOURS CO/THE	24	—	—	—	素材
GILEAD SCIENCES INC	10	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
NETAPP INC	—	6	28	3,106	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
NEWELL BRANDS INC	45	20	26	2,827	耐久消費財・アパレル
PRINCIPAL FINANCIAL GROUP	11	7	28	3,035	保険
SEAGATE TECHNOLOGY	14	5	28	3,039	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
STEEL DYNAMICS INC	—	11	28	3,037	素材
WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC	—	6	26	2,858	食品・生活必需品小売り
WESTERN DIGITAL CORP	14	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
HUNTINGTON BANCSHARES INC	51	31	26	2,822	銀行
CINCINNATI FINANCIAL CORP	—	5	27	3,012	保険

米国好配当リバランスマザーファンド

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等		
		株 数	評 価 額			
			外貨建金額		邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
FIFTH THIRD BANCORP	—	15	26	2,877	銀行	
ZIONS BANCORP NA	—	9	29	3,135	銀行	
PEOPLE'S UNITED FINANCIAL	37	24	27	2,966	銀行	
BROADCOM INC	—	1	28	3,062	半導体・半導体製造装置	
KRAFT HEINZ CO/THE	21	8	26	2,873	食品・飲料・タバコ	
合 計	株数・金額 銘柄数 < 比率 >	1,368 70	759 70	1,929 —	207,927 <95.3%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年5月21日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 207,927	% 95.3
コール・ローン等、その他	10,327	4.7
投資信託財産総額	218,254	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (208,724千円) の投資信託財産総額 (218,254千円) に対する比率は95.6%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル＝107.75円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年5月21日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	218,254,373
コール・ローン等	9,842,482
株式(評価額)	207,927,224
未収配当金	484,667
(B) 負債	36
未払利息	15
その他未払費用	21
(C) 純資産総額(A-B)	218,254,337
元本	240,858,188
次期繰越損益金	△ 22,603,851
(D) 受益権総口数	240,858,188口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,062円

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は22,603,851円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、0.9062円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は455,920,473円、期中追加設定元本額は25,697,502円、期中一部解約元本額は240,759,787円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

米国好配当リバランスオープン(年2回決算型)(為替ヘッジなし)
221,355,199円

米国好配当リバランスオープン(年2回決算型)(為替ヘッジあり)
19,502,989円

○損益の状況 (2019年5月22日～2020年5月21日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	14,263,874
受取配当金	14,271,037
受取利息	142
支払利息	△ 7,305
(B) 有価証券売買損益	△ 63,762,126
売買益	49,235,006
売買損	△112,997,132
(C) その他費用等	△ 797,304
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 50,295,556
(E) 前期繰越損益金	50,699,420
(F) 追加信託差損益金	3,122,498
(G) 解約差損益金	△ 26,130,213
(H) 計(D+E+F+G)	△ 22,603,851
次期繰越損益金(H)	△ 22,603,851

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はございません。